

## 令和6年度第3回学校運営協議会議事録

さいたま市立上大久保中学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和7年2月21日（金）10:00～12:00  
[場所] 上大久保中学校会議室

- 2 出席 会長 田澤 崇 （さいたま市立上大久保中学校PTA会長）  
副会長 南 崇子 （大久保東公民館長）  
委員 高柳 裕美 （青少年育成大久保地区会理事）  
市原 重行 （民生委員児童委員）  
小室 美香 （大久保東児童センター館長）  
目黒 良作 （さいたま市立大久保東小学校校長）  
山下 保夫 （さいたま市立栄和小学校校長）  
宇田 三郎 （上大久保自治協力会会長）  
渡部 秀之 （さいたま市防災アドバイザー）  
上村 美香 （さいたま市立上大久保中学校前PTA副会長）  
高久 正行 （さいたま市立上大久保中学校校長）  
佐藤 義将 （さいたま市立上大久保中学校教頭）  
神山 徹弥 （さいたま市立上大久保中学校教務主任）  
保坂 篤司 （学校地域連携コーディネーター）  
欠席 委員 井原光太郎 （土曜チャレンジスクール実行委員長）

### 3 次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 開会宣言（会長）
- (3) 本年度の学校運営について
- (4) 本年度の振り返り（感想等） ・各委員
- (5) 次年度の学校運営に関する基本的な方針の説明及び仮承認
- (6) 本日のまとめ（副会長）
- (7) 事務連絡
- (8) 閉会宣言（会長）

### 4 議事概要

- (1) 本年度の学校運営について  
○校長より（令和6年度 学校自己評価システムシートについて説明）

## （２）本年度の振り返り（感想等） ・各委員

### ○学力について

- ・基礎学力の定着には、継続することが大切であり、小・中の連携や家庭の協力が必要である。
- ・家庭での学習習慣を身に付けさせるのは、保護者の多忙さ等、困難な点がある。地域による家庭差も感じるので、地域の協力も得ながら行えるとよいのではないか。
- ・イベントや遊びの中で成功体験ができることを地域でも味合わせてあげたい。
- ・国語と数学（算数）は学習の基礎として特に必要である。また、テスト等で何が問われているかを読み解く「読解力」も必要である。
- ・小学校からの家庭学習の取組を、中学校でも続けていければ良い。
- ・土曜チャレンジスクール「上チャレ」においても、生徒の実態に応じた学習機会を設けるなど参加者を増やせるよう保護者へのPRをしていく。
- ・質問するのが恥ずかしいときがあるので、より質問しやすい授業の雰囲気作りに取り組んで欲しい。
- ・ドリル学習を行う上で必要な基礎基本が必要ではないか。
- ・図書館、児童センター、公民館が一つの施設内にあるメリットを生かし、協力して、子どもたちの学習機会を設けられるか検討していきたい。

### ○学校行事等について

- ・体育祭や合唱コンクールと、生徒が一生懸命に取り組んでいた。教師の指導力の賜物である。
- ・生徒が主体的に活躍できる行事を継続して欲しい。
- ・先生が生徒を信頼していることが、よく伝わってくる。
- ・Solaの一むの運営がうまく行っている。居場所を見つけたのだろう。

### ○地域参加について

- ・公民館として来年度も、防災を切り口にした講座を実施していきたい。
- ・ボランティアに参加している生徒を褒めてあげて欲しい。また、参加した生徒が他の生徒にPRを行う場を設けてはどうか。
- ・青少年育成会でも子どもたちの活動について、共有していく。

### ○教職員の働き方について

- ・負担感や多忙感の割合が高いが、それだけ仕事をやっているということなので、労ってあげたい。今後もこの先生に教えてもらえたと思ってもらえることが大切なのではないか。
- ・若い教員が増えたので、褒めて伸ばしていく。業務削減だけでなく、メンタル面でのフォローを管理職が取り組んでいく。

(3) 次年度の学校運営に関する基本的な方針の説明及び仮承認  
学校経営方針について仮承認を得た。

(4) 本日のまとめ(副会長)

これからも、地域として、中学生の姿が見られる企画を続けていく。

3年生の生徒の皆さんの全員の進路が決まるよう、そして、卒業・進級に向けて、応援していく。

(5) 事務連絡

- ・次年度の予定
- ・「令和6年度学校運営協議会委員アンケート調査」御協力をお願い